



一の宮っ子

第17号

発行
一宮市児童育成連絡協議会
事務局
一宮市社会福祉センター
思いやり会館内・2階
一宮市桜1丁目12番1号
TEL・FAX 0586-73-0356
ホームページアドレス
<http://home.owari.ne.jp/~jido-ren/>
平成23年3月28日



新年子ども会大会




▲ すばらしい演奏でした♪

木曾川町連区 西割田子ども会
五年 松岡 優里

私はこの行事に参加するのは初めてで不安でした。

私が一番心に残っているのは、遊びのしようかいです。北方町の「大縄跳び」や「台風の目」はどちらも学校でやったことがあります。大和町のふくろバケツにボールを入れる遊びでは、ふくろが小さくてむずかしそうだと思います。今伊勢町のソラン節はみんなの息があっていました。神山小学校の演奏では、すごく衣装がかわいくて、しかも演奏も上手でよかったです。

最後に私が思ったことは、もう少しみんなで遊べるゲームを取り入れてほしいと思いました。

そうしたらもっと楽しくなると思います。



あそびの発表

北方町連区 大空子ども会
六年 澤崎 未有

私たち大空西本郷子ども会は、一宮市民会館で新年子ども会大会に参加しました。私たちは、「大なわとび」と「台風の目」をやりました。

「大なわとび」では、練習のときはなかなかとべなかつたけど、本番では30回もとべました。予想外の結果におどろきました。「台風の目」は2つのコーンをおき、一本のぼうに三人並び交互にコーンを回ってチームのところへ



▲ そおれ、息もピッタリ！

いき、その人の足の下にぼうをくぐらせて、そのあとに、頭の上にもぼうをあけて次の人に回します。「台風の目」は、大人も子どもも楽しめる遊びで、とても楽しかったです。

「大なわとび」も「台風の目」も、みんなと協力して遊ぶので、みんなのきずなが深まったと思います。

大和町連区 北高井子ども会
六年 岡田 萌



▲ きんちょうしたけど、楽しかったあ

私達は、「ふくろにポーン」と「バケツにポーン」という遊びを発表しました。

「ふくろにポーン」は、次の人が持つているふくろにボールを投げ入れてリレーを行います。早く終わった方が勝ちになります。私は、ボールが入るかどうかわざわざと、ほんとはちゃんとボールが入り、ほっとしました。お客さんの拍手がとてもうれしかったです。次の「バケツにポーン」は、バケツの中に順番に1人2個ずつボールを投げ入れ、入った数の多いチームが勝ちになります。

ます。私は1個しか入りませんでした。チーム全体では練習の時よりもたくさん入っていて、びっくりしました。

私は司会もやったので、とても緊張したし練習も大変だったけど、終わった後にいろんな人から「がんばったね」と言われ、やつて良かったと思いました。良い思い出になりました。

今伊勢町連区 北六地藏子ども会
六年 松尾亜里紗

私は、新年子ども会大会に参加できて、とてもこころえいだなあと思いました。

ダンスをおどるとき少しきんちようしたけど、自分ではまちがえずにできて、今までで一番うまくおどれたと思いました。

私はダンスがきつかけで、みんなと仲よくなれたと思います。それは、たくさん練習し、たすけあったからだだと思います。今回みんなとダンスで、新年子ども会大会に参加できて、とてもよかったです。



▲ かつこよくおどれてるかな？

福祉とボランティア活動展

富士連区 花泉子ども会

五年 細田 政聖



ほかの子ども会は、六年生が一人もいなくて、ほかが「福祉とボランティア活動展」を見に行きました。

三階の体験コーナーで点訳の体験をしました。ほかも点字にチャレンジしました。ほかが書いたのは「三三三三」。みな様は読めますか？これはサッカーです。最近、パソコンで点訳ができるようになってきました。

クイズラリーで全問正かいたので、ビンゴゲームをしました。次々と数字が読み上げられ、「N35」でほかが一番最初にビンゴになりました。とても楽しかったです。また、子ども会ブースでは、ハイパーホッケーをしました。ペットボトルで作ったおもちゃなのに、こんなに楽しく遊べるんだなと思いました。また行きたいです。

小信中島連区 栄町子ども会

五年 水野 稜也



ほかは、10月16日、17日に「宮スポーツ文化センター」で行われた「福祉とボランティア活動展」に初めて行きました。

行く前は、どんなことをするんだろうと不安だったけど、行ってみると、ジャンピングボールやロケットビュンなど牛乳パックや紙コップ、輪ゴム、新聞など、日常生活にある身近なもので簡単に作って遊ぶことができました。

ハイパーホッケーは、順番がまわってこなくてできなかったけど、ペットボトルを使って作ってみたいと思いました。

他の子ども会のかべ新聞もたくさん展示してあって、自分のところだけじゃなくて他の連区の様子も知ることができて楽しかったです。

かべ新聞 優秀賞



神山連区 みなみやま子ども会

六年 藤井 葵

壁新聞作りで、一番の思い出は、スポンジの上の写真をはったりしてくふうしたことです。いろいろな写真があり、選ぶのにも時間がかかりました。写真のスポンジにはるときも、上手く写真がくっつか

なかつたりしました。一番大変だったことは、壁新聞に柄テープをつけたことです。全部で四ヶ所あるし、長いので、とても大変でした。テープがナナメになったり、変なところにはりついてしまったりして、なかなか上手くいきませんでした。だけど、全員でそーっと少しずつはっていったら、やっとできました。それでも少しづれたりしたけど、できたときは嬉しかったです。壁新聞みたいな大きな新聞をつくるのは、初めて大変だったけど、とても楽しかったです。

大志連区 大江みなみ子ども会

六年 片桐 祐希乃

昨年、壁新聞を見に行つて、「こういう事を書くんだな。」と思いました。今年、私達が書くとは思っていませんでした。いきなりお母さんから言われた時は、びっくりしました。でも、こういう新聞にするかはまだ決まっていなくて、すごく時間がかりました。私は、人を絵に描くのがあまり得意ではないので、難しいなうと思っていましたが、やってみると楽しくて、どんどん進んでいきました。みんなで心一つにして、一つの物を作るのがこんなに楽しいとは思っていませんでした。

私たちの作品が、一宮スポーツ文化センターに展示された時、とても小さく見えました。他の学校の子はみんなおもしろい発想でびっくりしました。もう一つびっくりしたことがあります。それは、優秀賞に選ばれたことです。まさか自分たちの作品が選ばれるなんて思ってもいませんでした。小学校最後にこんな経験ができてうれしかったです。また、機会があったらぜひやりたいです。





千秋町連区 西馬場2子ども会
六年 吉田 舜

子ども会に入るまで、ぼくは子ども会は、何をするとおんなだろうと思っていました。しかし、一年二年と参加することに、四季の行事がわかり、次は何があるのかわかってきました。

だから、かべ新聞を作ることが決まった時には西馬場2子ども会の一年間の行事が、これを見ればすぐわかるように作ろうと決めました。

一つの線路の上を四つの季節に分けて、それぞれの行事を入れました。折り紙で色々なものを作ったり、写真を切ったりして、どこの場所は何をはろうか考えるのは大変でした。でも、だんだんきれいな色ででき上がっていくのをみると、自然に楽しんで作ることができました。みんなで協力しなければできなかったと思います。

入賞したと聞いた時は、すごくうれしかったです。



西成連区 西新田子ども会
六年 川上 梨乃

最初、「壁新聞を作るよ。」と言われた時は、「どうやって作るんだろう。」と少し不安になりました。でも、作るからには分かりやすくして、見ていて楽しくなるような新聞にしたいなあと思いました。

今年、西成東小は福祉週間の行事で、マジック鑑賞会が行われました。それをヒントにして、壁新聞のデザインは、マジックっぽい感じにしようということになりました。私たちの校下には、七つの子ども会があります。それぞれの子ども会でいろいろな行事が行われているので、各子ども会でいろいろな行事が決め、風船の形の記事を作り、最後に五、六年生五人で一つの大きな新聞にまとめました。折り紙や切り紙を作ったり、お花紙で花を作ったり、みんなで協力して作っているうちに楽しくなりました。そしてシルクハットからいろいろのものを飛び出させたら、とてもにぎやかな明るい新聞になり、よかったですと思います。みんなががんばって作った新聞が賞をもらえて、とてもうれしいです。



萩原町連区 西宮重子子ども会
六年 加藤里緒・中野遥賀

「かべ新聞を作って。」と、私たち六年生が言われたとき、「えー、めんどくさいなあー」と思いました。けれど、子ども会最後の年で、かべ新聞をつくれることはいい機会だと思われ、また、少しほこりに思った部分もあったので、新聞作りに参加することにしました。

私たちは、たくさんの人に「西宮重子子ども会のかべ新聞」を見てもらいたかったので、一生懸命きれいな色の紙や、写真を切ってはったり、上手に絵をかいたりいろいろな工夫をしました。また、かべ新聞をかいているうちに夏の思い出を一つ一つ思い出すことができましたし、みんなで仲良く作ることができました。大人の手をかりず、完成させたかべ新聞は、きらきらした星がちりばめられ、デザインも思ったより良く、納得のいく作品ができました。

私たちの思いが詰まったかべ新聞をつくることができましたので、本当によかったです。



会長。指導部長。指導者代表者研修会

千秋町連区 佐野子ども会
指導者 濱村 美和

三条連区 仁井めばえ子ども会
指導者 若杉久美子

私は、二人の子どもを持つ母親として子ども会に入っており、指導者という大役を任せられる事になりました。何もかもが私にとって初めての事ばかりで、この一年どう乗り越えて行こうかと不安な気持ちのままスタートしました。私が入っている子ども会の役員の方々が、とても協力的で助けて頂いた部分がとても多く感謝しております。

今回、研修会に参加して見て、皆さんの意見をたくさん聞いて、皆さんの意見をたくさん聞く事ができました。私は、この一年間を振り返り、子ども会の活動で得た人と人とのつながりを大切にしていきたいと思います。



▲一年間お疲れ様でした



▲意見をたくさん出してね

平成22年度、子ども会の指導者の補佐として一年過ごし、今回の研修会に参加させていただきました。

分科会では、他の子ども会指導者さんの一年やってきて良かったことや、苦労した事、今後の問題点などを聞く事が出来、とても参考になりました。閉会式では、「私達親は、会長でなく指導者である。」と聞きました。子ども会では「子どもが中心であり、子どもが会長である。」「私達は指導者であり、協力者である。」という事でした。親の私達が、指導者であり協力者である意識するだけでも、子どもが中心の子ども会に近づくと思

ました。
今回学んだ事を来年度に生かしていきたいと思えます。



分科会のまとめ

良かった点

- ・子どもの人数も予算も少ない中、無料のバスを借りたり、工夫して楽しく出来た。
- ・農作業をしたり、食べ物を作ったり、いろんな体験が出来てよかった。
- ・皆と協力する事が出来て、行事がスムーズに行えた。
- ・退屈そうなおな六年生に役割を与えたら責任をもってやってくれてうれしかった。
- ・3年連続で役員をすることで指導者があってもスムーズにできた。
- ・充実感いっぱい的一年だった。

問題点

- ・子ども会行事を今までどおり続けていきたいが、収入が減り、困っている。
- ・前年の方からの引きつぎがなかった。
- ・子どもの習い事で、人が集まらない。
- ・役員になるのがイヤで子ども会に入らない人が増えてきている。
- ・人数が多すぎるので行事をするのも一苦労。

・一年生から六年生までが楽しめる遊びを考えるのが難しかった。

助言

- ・上級生が行事を進行するスタイルで、下級生を指導するようにしてはどうか？
- ・無料のものを利用する。(出前一聴や生涯学習バス)
- ・「指導者をやって良かった。」という充実感を大切にしてほしい。



表彰

去る11月20日、愛知県子ども会連絡協議会の表彰式が名古屋市公会堂で行われ、次の子ども会が表彰されました。

- 県知事表彰**
大和町連区 花井町子ども会
- 県社協会長表彰**
千秋町連区 小山子ども会
小信中島連区 木の芽子ども会
- 県子連会長表彰**
神山連区 新生一丁目子ども会
富士連区 赤見第三子ども会
西成連区 南小淵子ども会
丹陽町連区 重吉子ども会
今伊勢町連区 下町子ども会

行事予定

○一宮市子ども会指導者研修会
4月30日(土)
一宮市民会館



編集後記

春の便りがいっぱい、一年間、色々な活動を通して子ども達の原稿をお寄せいただき、ありがとうございます。

今後も子どもによる子ども会を目指した活動を掲載していきますので、楽しみにして下さい。

広報委員

- 渡部 規子・加藤 和子
田中比登美・馬場あや子
江崎 春美・宇野 笑子
加藤 愛・平川 美樹
朝比奈千佐江

